

水素燃料ガス計測装置（CO計測） YABEGAWA

ラック・卓上兼用型 HMD-1000

特願2020-088160

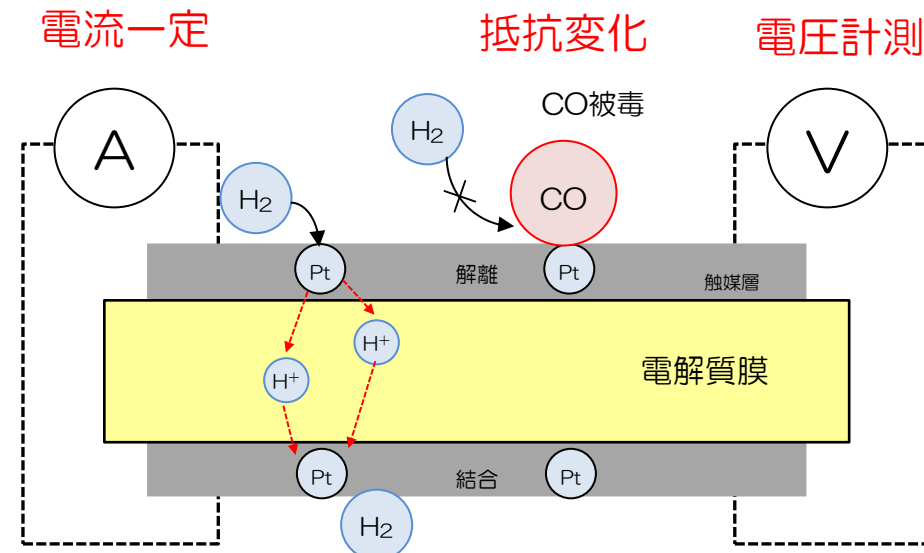
分析法：JIS B 7961「水素ガス中の一酸化炭素自動計測器」（2024.11.20制定）

特徴

用途：燃料自動車水素品質ISO規格/CO計測装置

- 【1】“燃料電池型セル”により水素中の微量なCO濃度を計測
- 【2】オンライン連続計測
- 【3】極少量のガス使用でランニングコスト削減
- 【4】120秒毎のゼロ確認でゼロドリフト小
- 【5】1回/日の自動校正で計測精度の維持
- 【6】運転操作、運転モニター、計測トレンドを小型タッチパネル操作
- 【7】低圧力、小流量のため安全性に優れています
- 【8】パネル埋設・卓上設置兼用ケース

検出原理

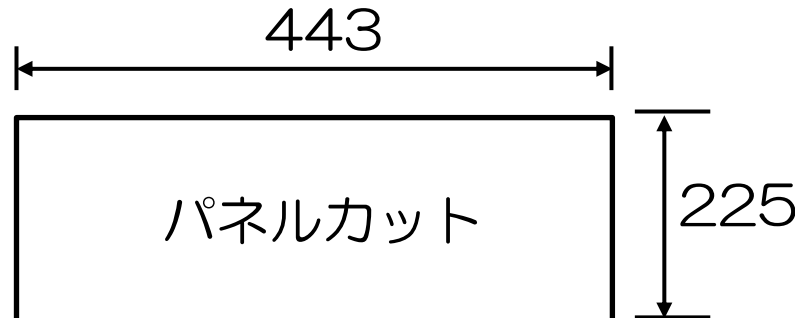


燃料電池型センサ

機器仕様



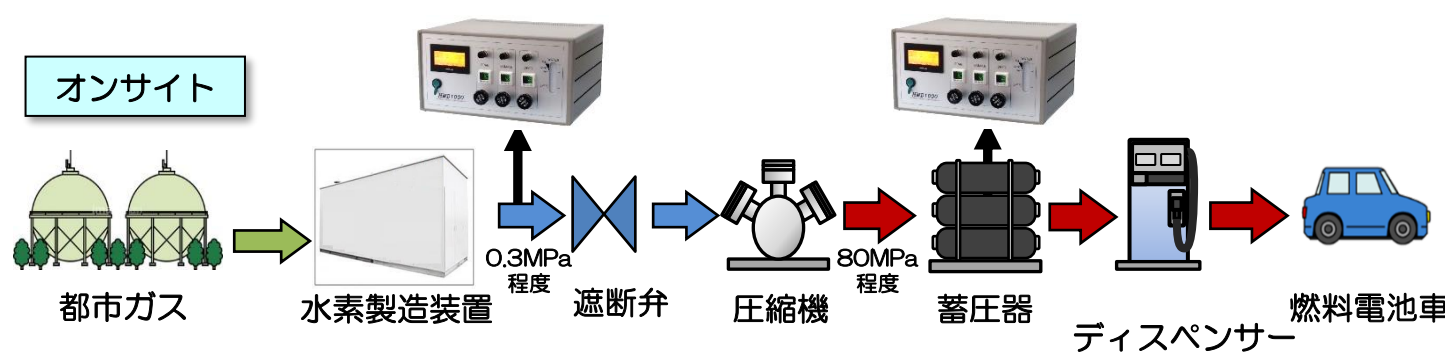
ラック・卓上兼用型 HMD-1000



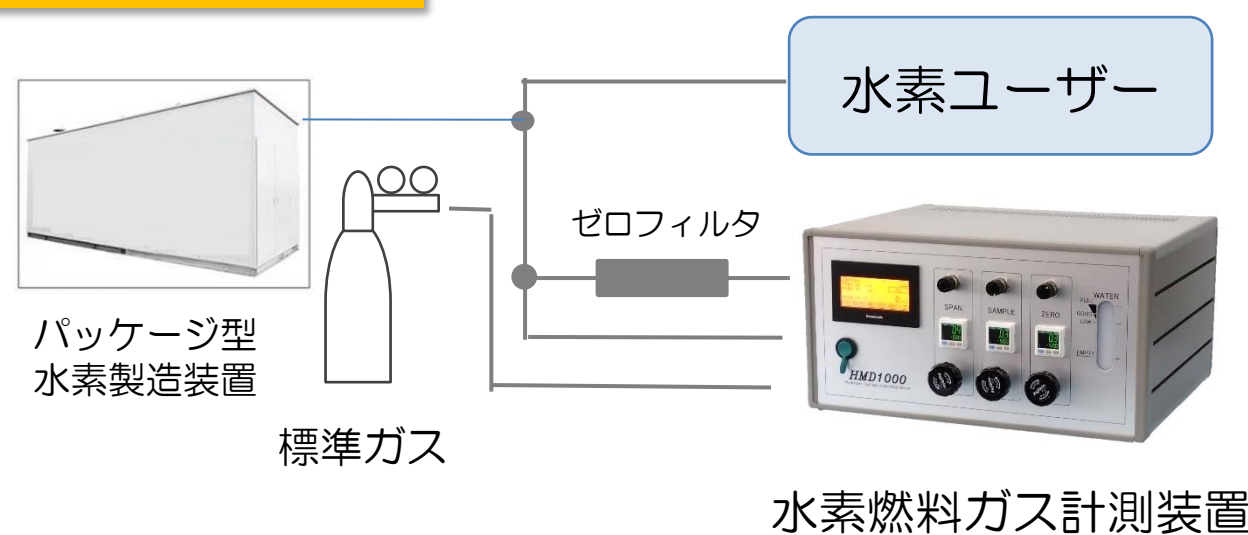
標準機仕様	
品名・型式	「水素燃料ガス計測装置」 HMD-1000
検出原理	燃料電池型センサ
計測対象	H2ガス中のCO濃度（ラック・卓上兼用型）
測定レンジ	（標準）0～0.2ppm（オプション）0.5/1.0ppm
指示誤差（検出限界）	±5%FS（検出限界 0.01ppm）
計測周期	120秒/回
ガス流量	（最大）200 mL/min
ガス圧	0.2～0.5 MPa（サンプルガス圧：0.05MPa）
外部出力仕様	接点出力：警報出力 1点 アナログ出力：濃度出力 4～20mA
設置（周囲温度）	0～35℃
（周囲湿度）	20～85%RH
外形寸法	430W*222H*350Dmm(突起部含まず)/16kg

※ 仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

水素ステーション



計測システム例



JIS試験

CO濃度計測 性能成績表 15号「水素燃料ガス計測装置」2023.7.21
レンジ：CO 390/204ppb

